

5月4日（日） 令和7年度春季リーグ戦第5節2回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
大工大	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
阪公大	0	0	0	0	0	1	0	0	2x	3x

大阪工業大学(3塁側)

対

大阪公立大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	一	入谷	4	東海大学附属大阪仰星	3	2	1	
2	中	岡田	3	報徳学園	4	0	0	
3	三	平山	3	福井工業大学付属福井	3	0	1	
4	左	兵	4	福井工業大学付属福井	4	0	0	
5	右	岩口	2	奈良大学付属	4	1	0	
6	指	道下	4	武田	2	0	0	
	打指	片岡	3	樫原学院	1	0	0	
7	捕	岡村	3	乙訓	3	1	0	
8	遊	阪本	4	明秀学園日立	2	0	0	
9	二	前田	2	鳥取城北	3	1	0	
投		永井	4	興国	-	-	-	
		宮路	3	東海大学付属高輪台	-	-	-	
		大江	4	興国	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	4	6	3	0	1	29	5	2

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	3	府立生野	3	1	0	
2	遊	疋田	4	広島新庄	5	1	0	
3	右	前田	3	須磨学園	1	1	1	
4	一	菱田	2	関西大倉	4	1	1	
5	左	林	2	大阪明星	3	0	0	
6	指	田中創	3	金沢桜丘	0	0	0	
	走指	京橋	4	清教学園	3	0	0	
7	三	田中大	2	彦根東	3	1	1	
8	二	樋口	4	刈谷	4	2	0	
9	捕	小田竜	4	県立伊丹	4	0	0	
投		田中綾	4	市立西京	-	-	-	
		利川	2	西大和学園	-	-	-	
		片山	3	府立池田	-	-	-	
		山本	3	清教学園	-	-	-	
		宮田	2	倉敷青陵	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	2	8	2	0	3	30	7	3

【投手成績】

名 前	回 数	投 球 数	打 者 数	打 数	被 安 打	奪 三 振	四 死 球	失 点	自 責 点
永井	7	101	31	24	4	2	6	1	1
宮路	1 1/3	34	8	5	2	0	2	2	2
大江	0	4	1	1	1	0	0	0	0
合計	8 1/3	139	40	30	7	2	8	3	3

【投手成績】

名 前	回 数	投 球 数	打 者 数	打 数	被 安 打	奪 三 振	四 死 球	失 点	自 責 点
田中綾	3	57	14	10	3	2	2	1	1
利川	3	36	10	9	0	2	1	0	0
片山	1	19	5	3	1	0	1	1	1
山本	1	9	3	3	0	0	0	0	0
宮田	1	28	6	4	1	0	2	0	0
合計	9	149	38	29	5	4	6	2	2

【戦評】

昨日の敗戦からは気持ちを入れ替え、最終節でも勝ち点を掴み取るべく、本日こそは必ず1勝を決めようとチーム全員で挑みました。

本日先発の田中綾（工4・市立西京）は、1・2回と先頭打者に安打を放たれ、盗塁や犠打により、三塁までの進塁を許しますが、落ち着いた投球をみせ、相手に先制点を譲りません。

まずは先制点を奪い取りたい2回裏、二死から田中大（経2・彦根東）が四球を選び、出塁します。続く樋口（工4・刈谷）は安打を放ち、二死一二塁のチャンスをつくりますが、あと一本が出ず、無得点に終わります。田中綾は3回、先頭打者に安打、続く打者に連続四球を与え、無死満塁とされると、犠牲フライにより1点を先制されます。なおも一死一二塁のピンチが続きますが、2者連続三振に打ち取り、この回を最少失点に抑えます。

4回からは、田中綾に代わり利川（経2・西大和学園）がマウンドを任されます。利川は落ち着いた投球で、4・6回を三者凡退に抑え、5回には四球を与えるも、得点は許しません。

再び試合が動いたのは6回裏、まずは先頭の前田（現3・須磨学園）が四球を選ぶと、菱田（農2・関西大倉）は見事な送りバントを決めます。続いて、田中創（法3・金沢桜丘）も四球を選び、二死一二塁のチャンスを迎えます。このチャンスをなんとかものにしたい阪公大打線は、続く田中大が期待に応えるようにライト方向へ適時打を放ち、1点を返し、試合を振り出しに戻します。

7回表、片山（生3・府立池田）が登板すると、先頭打者に内野安打を放たれます。続く打者の四球・犠打により一死二三塁のピンチを背負い、内野ゴロの間に三塁ランナーが生還し、1点を返されます。

7回裏、根来（経3・府立生野）は四球により出塁すると、すぐさま盗塁を決め、内野ゴロの間に三塁へ進塁します。続いて前田も四球を選び、二死一三塁としますが、惜しくも得点は得られません。

これ以上得点を奪われたくない8回表、山本（文3・清教学園）がマウンドに上がると、テンポの良い投球で三者凡退に抑える好投を見せます。

最終回のマウンドを任されたのは、宮田（工2・倉敷青陵）。一死から連続四球を与えた後、二死としますが、1番打者に安打を放たれます。宮田は、二死満塁のピンチを背負いながらも、落ち着いた投球で次打者を打ち取り、無失点に抑えます。

なんとしても逆転を決めたい最終回の攻撃、先頭の根来は死球を受けて出塁すると、またも盗塁を決め、続いて疋田（工4・広島新庄）が内野安打を放ちます。ここで前田が打席に立つと、相手投手の暴投による進塁で無死二三塁となり、前田は犠牲フライを放ち、1点を返します。なおも続く一死三塁チャンスで、4番の菱田に打順が回ると、ピッチャー前へのスクイズを成功させ、三塁ランナーが生還し、サヨナラ。3－2で勝利いたしました。